

レポートを書くときの注意事項 —引用と剽窃—

明治大学国際日本学部

1. 自分が書いた部分と文献からの引用部分の区別

文章は、それを執筆した著作者に所属するもので、著作者に権利があります。

他人の著作を、何の断りもなく、まるで自分の著作のように見せかけて使用することは、「剽窃」「盗作」「盗用」と言われるように一種の盗みであり、法律的には著作権の侵害となります。

他人の著作を読むことは良いことですし、出典を明示した適切な引き方であればレポートで引用することもかまいません。しかし、自分の著作部分と他人の著作部分は明確に区別しなければなりません。

2. 処分

剽窃と認定されたレポートは、試験におけるカンニングと同じように、厳重注意、譴責、停学などの厳正な処分の対象となります。譴責、停学の対象となった場合、当該科目の単位だけでなく、当該学期に履修しているすべての科目が不合格となり、その学期の単位すべてがなくなります。

3. 悪い例

以下の例で「○○○」「△△△」「□□□」などは、参考文献・サイトからコピーした文章を意味します。

警告： 以下の**悪い例 1**～**悪い例 4**はすべて処分の対象になります。

悪い例 1 出典が記載されていない。最初から最後まで、一つまたは複数の文献やサイトの文章をコピーしただけ。

XXX	1 年 3 組	YYYY
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		

悪い例 2 出典が記載されていない。
コピーにごくわずかの文を加えたのみ。

XXX	1 年 3 組	YYYY
まず、XXX の現状について述べておく。○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
次に、XXX の課題と対策について概観する。△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△		
以上、XXX の現状、課題と対策を考察した。		

XXX

1 年 3 組 YYZZ

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

なぜこのような事態に至ったのか。以下では、
その原因を究明し、どのような対策を～～（後略）。

参考文献

著者名（2011）『書名』出版社名
引用サイト「サイト名」
<http://www.~~~~~>.
（閲覧日＊＊年＊＊月＊＊日）

XXX

1年3組 YYZZ

昨今、**XXX** が問題にされることが多い。問題の
発端となったのは、○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○。社会的な批
判の高まりを受け、制度変更が議論されているが、
制度変更は必ずしも問題解決にはつながらないと
考える。なぜなら、△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△。
そこで、□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□。今後
この施策に力を入れることが求められるであろう。

参考文献

著者名（2011）『書名』出版社名

鈴木（2012）は「○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」と述
べている。以下で、この点について考えてみたい。

参考文献

鈴木一郎（2012）『書名』出版社名

この点について、鈴木（2012）は次のように述べている。

△△△△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△△△。
△△△△△△△△△△△△△△△△△△△
△△△△△△△△△△△△△△△△。（pp.15-16）

以下で、この点について考えてみたい。

参考文献
鈴木一郎（2012）『書名』出版社名

[illegible]

参考文献

鈴木一郎 (2012)『書名』出版社名

高橋花子 (2001)『書名』出版社名

———— (2008)「論文名」『雑誌名』発行元

田中和夫 (2010a)『書名』出版社名

———— (2010b)「論文名」『雑誌名』発行元

文部科学省 (2005)「～～最終報告」

<http://www. /~~~~~>.

(閲覧日 **年**月**日)

山田花子 (2003)「論文名」松本武編『書名』出版社名

5. Differentiate your own words from the sources

To present others' work as your own work without citation is called **plagiarism**. It is an infringement of copyright.

6. Penalty

7. Examples of Plagiarism

Warning : Examples of plagiarism 1~ 4 will be penalized.

Example 2 No source of reference. Only copy-and-paste and add some sentences.

[illegible][illegible]

